



ストレージシステムの導入経緯：

既存システムで使用しているDAS接続ストレージをリプレースする必要があり、その際にサーバも同時にリプレースする必要があるため導入コスト低減が課題となっていました。システムコストを低減させるためNASも使用できるユニファイドストレージの導入を検討しました。ユニファイドストレージの仕様としてオプションで10Gの拡張カードをサポートし、将来的にホストインタフェース10G転送が可能となるストレージの導入を検討しています。

上記の仕様条件に対応し、かつコストパフォーマンスも優れるGSユニファイドストレージ導入を決定しました。

GSユニファイドストレージによるソリューション：

- ブロックストレージ（DAS/SAN）、ファイルサーバ（NAS）をサポートするユニファイドストレージ機能
- クライアントPCからはNAS接続ストレージとして、サーバからはDASストレージとして、NAS/DAS混在環境を1システムにより実現
- 優れたコストパフォーマンスとオプション10Gホストボード拡張カードのサポート

GSユニファイドストレージ導入効果：

DAS接続とNAS接続の混在運用が可能となり、ストレージ設定は手軽で短時間で実施することができるためシステム導入負担を軽減することが可能となりました。運用構成として異なるクライアントOSからのGSストレージのNASボリュームへのアクセスが実現され、システム運用負担と工数を低減することができました。オプションで10Gの拡張カードをサポートするため、将来的に大容量のデータを使用する際のホストインタフェース拡張と、データ転送に要する時間の低減が実現されます。

システム構成図：

